

新JIS表示

**NEW**  
**Landy V**  
**EX125WD**

ホイール式油圧ショベル



**HITACHI**

そう かい  
爽快

# カーライフ感覚!

- 最高速度38km/hとスピーディな走行
- ゆったり、快適なデラックスキャブ
- 走行中のショックを吸収する前輪サスペンション



# きわめた

わざ

# 技

# 確かな手応え

ごた



### ■余裕の大容量エンジンを搭載

6気筒・総排気量6.5リットルの大容量、大トルクエンジンを搭載。

### ■EX-5シリーズで好評の油圧システムH.I.O.S.\*採用

新油圧システムH.I.O.S.により、滑らかでスピーディな動きを実現。

- 水平引きでもアームの落ち込みが少なく、滑らかなならし作業ができます
- 応答性が良いので土羽打ち・転圧がきびきびとできます
- 複合性が要求される砂利まきもスムーズにできます

\*H.I.O.S.(Human and Intelligent Operation System)新油圧システムの名称です。

### ■作業でいちばん使用するアームは増速機構付き

軽負荷時に戻りの油を再びシリンダに送るアーム増速機構(再生機構)によりアームの水平引きをスムーズにかつ速くします。

### ■ハードな作業にH/Pモード

重掘削時、エンジン出力を自動的に標準の88PSから95PSへアップ、作業量を増やすH/Pモードを新設。必要な時だけ馬力アップするので燃費上昇もわずかです。標準でも作業量はEX-3型より21%アップしました。

### ■省エネにEモード

軽作業時などに省エネ効果の大きいEモード、燃費が節約できます。



### ■作業速度もアクセルペダルで調整

掘削やアタッチメントの作業速度を、エンジンコントロールダイヤルとアクセルペダルで制御できます。アクセルペダルは、作業状況に応じスピード調整ができ、燃費低減が図れます。また省エネに貢献する、オートアイドル\*を標準装備しています。

\*オートアイドル:作業レバーを中立にすると約4秒後にエンジン回転数を下げ、燃費低減を図ります。



### ■走行性能をさらに向上

最高速度を38km/hにアップ。スタート時や坂道での加速性、走行中の乗り心地もさらに向上しました。

# 38km/h

### ■走行中の負荷を感知、走行状況に応じてエンジン出力をコントロールする自動負荷感知制御

登り坂・加速時などパワーが必要な時にエンジン出力を上げ、定速走行時にはエンジン出力を下げ燃費低減を図っています。



### ■小旋回性能を大幅アップ

後端旋回半径1,740mm、フロント最小旋回半径1,750mmと小さく、狭い現場でも効率よく作業できます。

### ■安定性向上

カウンタウエイト・下部走行体の重量アップ、剛性の優れた新開発タイヤの採用などにより、作業時の安定性を向上させました。

### ■寒冷時でもすばやくウォーミングアップ

操作系を暖めるクイックヒート回路を採用しています。

### ■エンジン・油圧系の自動ウォーミングアップシステム

冷却水温や作動油温が低い場合、エンジンを始動すると自動的にエンジン回転数を上げて暖気します。



※写真の後方ミラーはオプションです。

# きわめた

かいてき

# 快

# 乗り心地の良さ

■居住性をさらに向上  
ワイドな1m幅のEX-5型共通キャブを採用。

- 足元やレバー回りが広く、ゆったりした空間を確保。
- 大きな天窓の採用により、上方視界を広くしました。

■ホット&クールボックスをオプションで用意

■オートエアコンを標準装備

前方吹き出し口のある大容量のオートエアコンを標準装備。素早く、快適な運転空間が得られます。

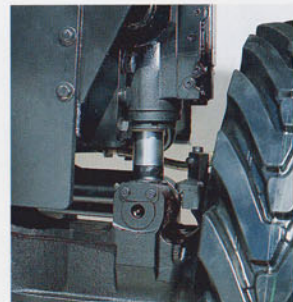
■オペレータの体格に合わせて調整のできる  
チルトハンドルを採用

オペレータの体格に適した運転姿勢が得られます。また、ハンドルを前後に215mm移動でき、はね上げ式左コンソールと相まって乗り降りが楽にできます。

■デラックスサスペンションシートはダブルスライド調整式  
シートは単独でも、操作レバーと一体でもスライド調整でき、オペレータの体格に適したポジションが得られます。

■前輪サスペンションの採用により優れた路面走破性と乗り心地を実現

走破性・乗り心地向上のため前輪サスペンションを採用しました。路面からの影響を軽減、疲れの少ない安定した運転ができます。



■車高調整が可能

サスペンション調整バルブの採用により、アタッチメントの重量に合わせて前輪の車高調整ができます。



■軽快な運転操作、見やすい  
ハンドルコラムで快適運転

走行に関するレバー、メータ、スイッチ、計器類をスリムなハンドルコラムにまとめ、操作性、視認性を向上しました。前後進レバー、ターニングナルスイッチなどはフィンガータッチで操作できます。

■新開発タイヤを採用

泥かみ性、泥はけ性の優れたトレッドパターンの新開発タイヤを採用。高い安定性が得られ、走行中の振動も低減します。



## 環境や安全性への配慮

■低騒音

大型エンジンを搭載。低速回転で使用することにより騒音を大幅に低減。建設省の騒音基準 104dB(A)をクリアしています。(低騒音型建設機械指定申請中)

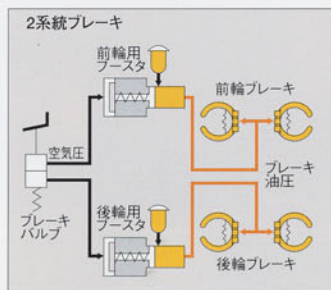
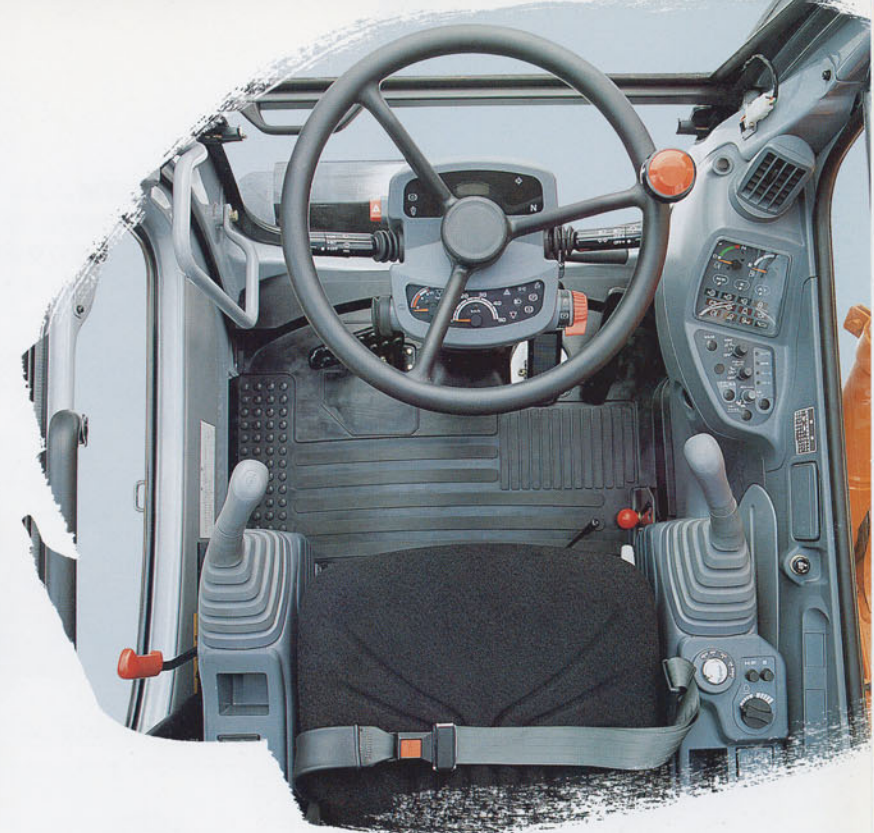
■排出ガス対策型エンジン搭載  
建設省の指定基準値をクリアした排出ガス対策型エンジンを搭載しています。

■前・後輪が独立した  
2系統ブレーキシステム

前・後輪いずれかのブレーキ系統にトラブルが発生しても、車体は停止可能です。

■自己保持パーキングシステム  
エンジンを停止したとき、ブレーキスイッチの位置にかかわらずパーキングブレーキが自動的に作動します。ブレーキスイッチが走行位置でエンジンを始動しても走行してしまうことはありません。

■簡単操作のブレーキスイッチ  
走行(T)、アクセルロック、駐車(P)、作業(W)の4つの切替式です。作業(W)に切り替えると、作業ブレーキが作動すると同時に、サスペンションシリンダをロックして安定した作業ができる状態になります。



■ロックレバー



■緊急脱出用  
ハンマ



■エンジン緊急  
停止レバー



# きわめた

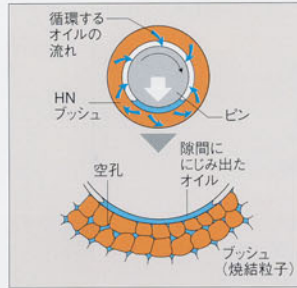
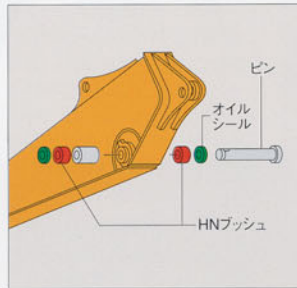
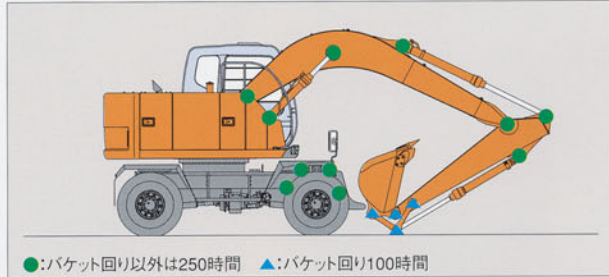
ねばり

# 耐

# 整備性&耐久性

- ブラシレスタイプのオルタネータを採用。耐久性が向上しました
- ラジエータはゴミ詰まりに強いウェーブフィンを採用
- 作動油・エレメント類の交換時間延長  
作動油交換は、4,000時間ごとに延長しました。また、エンジンオイル、エレメント交換も500時間ごとに延長しました。

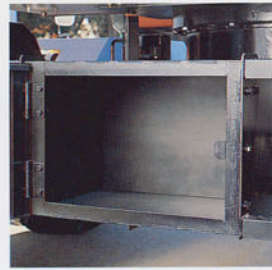
■ フロントピン部およびサスペンション部にHNブッシュを採用  
摩耗も少なく、給脂時間も250時間と長く、メンテナンスが楽になります。ブッシュの空孔に蓄えられた高精度特殊オイルが、フロントピンとのすき間へにじみ出て、自己潤滑。ピンの摩耗低減、グリース給脂間隔の延長を実現しました。



■ 耐久性を向上したオルタネータ



■ 大型工具箱



※写真の後方ミラーはオプションです。

# きわめた

# 多

# 各種アタッチメント

■ 各種アタッチメント対応

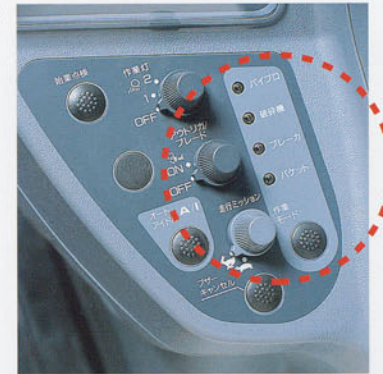
ブレーカや破砕機・パイプロなど油圧駆動アタッチメントの油圧源となる予備ポートを標準装備しています。各種アタッチメント用の配管はオプションで用意しています。

■ オプション配管

- ブレーカ配管
- ブレーカ・破砕機共用配管
- 2速切替えキット(ブレーカ、圧砕機の組替えを頻繁に行う場合に便利なワンタッチ式流量切替えキット)
- アシスト配管(旋回装置付き破砕機の旋回用などに使用する補助配管)

■ 右コンソールにアタッチメントモード選択スイッチを新設しました。

それぞれのアタッチメントに合った最適流量がスイッチ1つで選択できます。配管オプションとの組み合わせにより使用してください。



側溝掘フロント(オプション)



破砕機(オプション)



油圧ブレーカ(オプション)



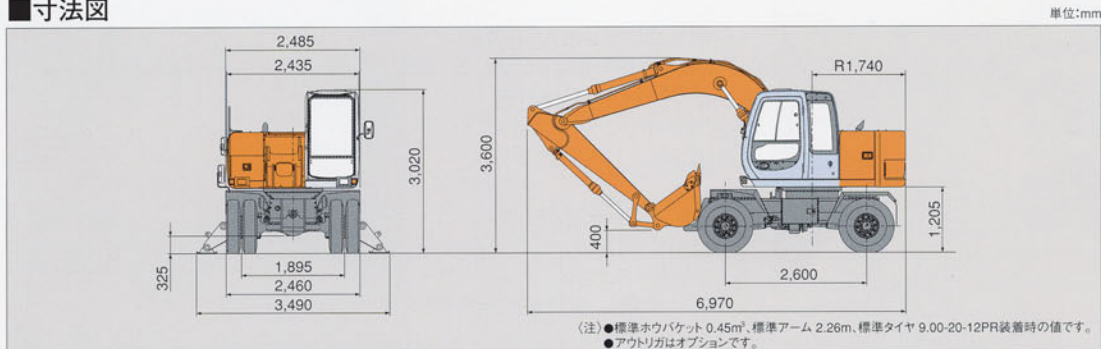
アタッチメント切替えペダル(オプション)



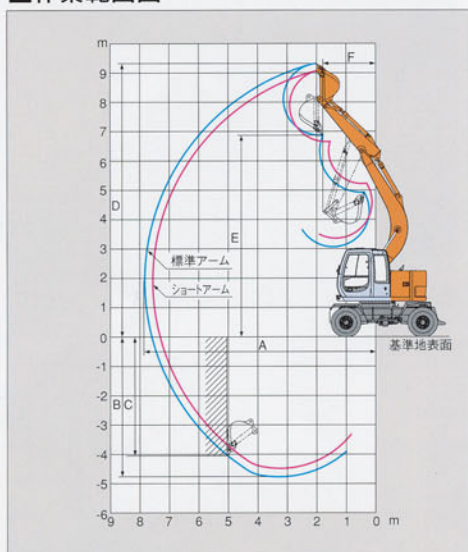
アウトリガ(オプション)

※写真のブレーカ・破砕機用の配管はオプションです。

## ■寸法図



## ■作業範囲図



## ■作業範囲

単位:mm

	1.96 m ショートアーム	2.26 m 標準アーム
A 最大掘削半径	7,570	7,830
B 最大掘削深さ	4,460	4,760
C 最大垂直掘削深さ	3,720	4,060
D 最大掘削高さ	9,110	9,330
E 最大ダンプ高さ	6,660	6,880
F フロント最小旋回半径	1,650	1,750

## ■各種バケット

●:一般掘削 ○:軽掘削 □:積込作業用 △:装着可能 ●:岩掘削用 ×:使用不可

	容量 m <sup>3</sup>		幅 mm		爪数(本)	EX125WD-s		
	山積 新JIS(旧JIS)	平積	サイドカッタ 無し	サイドカッタ 含む		ショートアーム 1.96m	標準アーム 2.26m	エクステンションアーム 1.00m
ホウバケット	0.19(0.17)	0.15	450	550	3	○	○	○
	0.30(0.25)	0.22	580	700	3	○	○	○
	0.40(0.33)	0.28	680	800	4	○	○	○
	0.45(0.40)	0.34	850	970	5	○	○	×
	0.50(0.45)	0.39	890	1,010	5	○	○	×
	0.59(0.50)	0.43	950	1,070	5	○	□	×
ホウバケット 補強付き	0.45(0.40)	0.34	850	970	5	○	○	×
	0.50(0.45) <sup>*1</sup>	0.39	890	1,010	5	○	×	×
	0.50(0.45) <sup>*2</sup>	0.39	890	1,010	5	○	×	×
一本爪リッパ	—	—	—	—	1	●	●	×
法面バケット	—	—	1,000	×1,600	—	△	△	△
梯形バケット	0.35	—	—	側板傾斜角度45度	3	○	○	○
クラムシェルバケット	0.30	—	—	560(センタブル式)	6	○	○	×
スケルトンバケット	0.40	—	—	690(シェルブッシュ式)	6	○	○	×
スケルトンバケット	—	—	1,010	—	5	○	×	×

(注) \*1:横ピンタイプ \*2:H補強バケット

## ■主要装備品

### 標準装備品

#### 足回り

- トラクションタイプタイヤ(9.00-20-12PR)
- 前輪サスペンション

#### バケット

- 0.45m<sup>3</sup>(0.40m<sup>3</sup>)バケット

#### アーム

- 標準2.26mアーム

#### その他

- フェンダー
- 右フェンダミラー
- オートエアコン
- 外気導入キット
- 時計付きオートチューニングAMラジオ
- サスペンションシート
- シートベルト
- 間欠ワイパ

### オプション

#### バケット

- 0.19m<sup>3</sup>(0.17m<sup>3</sup>)バケット
- 0.30m<sup>3</sup>(0.25m<sup>3</sup>)バケット
- 0.40m<sup>3</sup>(0.33m<sup>3</sup>)バケット
- 0.45m<sup>3</sup>(0.40m<sup>3</sup>)バケット
- 0.50m<sup>3</sup>(0.45m<sup>3</sup>)バケット
- 0.59m<sup>3</sup>(0.50m<sup>3</sup>)バケット
- 0.45m<sup>3</sup>(0.40m<sup>3</sup>)補強バケット[部位選択]
- 0.50m<sup>3</sup>(0.45m<sup>3</sup>)補強バケット[部位選択]
- 法面バケット\*
- 梯形バケット\*
- 0.30m<sup>3</sup>クラムシェルバケット(センタブル)\*
- 0.40m<sup>3</sup>クラムシェルバケット(シェルブッシュ)\*
- 1本爪リッパ\*
- スケルトンバケット\*

#### アーム

- 1.96m ショートアーム
- 2.26m 補強アーム[部位選択]
- エクステンションアーム(1.0m)

#### 配管関係

- NPKブレーカ専用配管
- NPKブレーカ・破砕機共用配管
- オカダ・古河ブレーカ専用配管
- オカダ・古河ブレーカ・破砕機共用配管
- 2速切替え配管
- アシスト配管
- パイロ用品
- アタッチメント増速バルブ
- アタッチメント切替えペダル

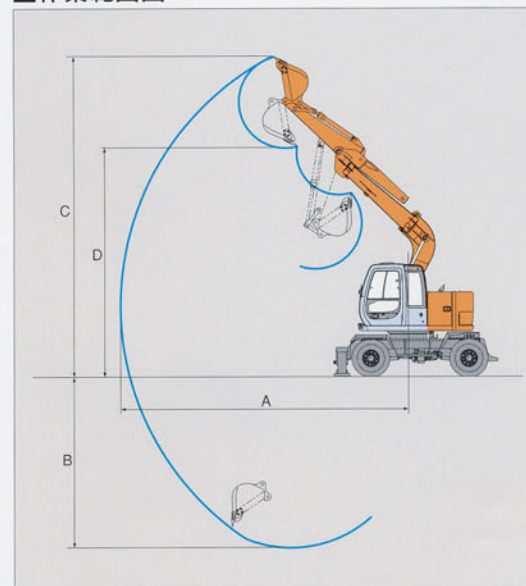
#### その他

- 側溝掘フロント
- アウトリガ
- ブレード
- リヤガード
- 走行モータカバー
- シャーシ右工具箱
- セレクトバルブ式マルチレバー
- 天窗ガラス付きキャブ
- ホット&クールボックス
- ヒータ
- 時計付きオートチューニングAM/FMラジオ
- ヘッドガード
- 後方ミラー

(注) ●バケット容量は新JIS表示です。( )内は旧JIS表示を併記したものです。  
●\*印のバケット(ホウバケット以外)を装着した状態では、公道走行はできません。

## 側溝掘り

## ■作業範囲図

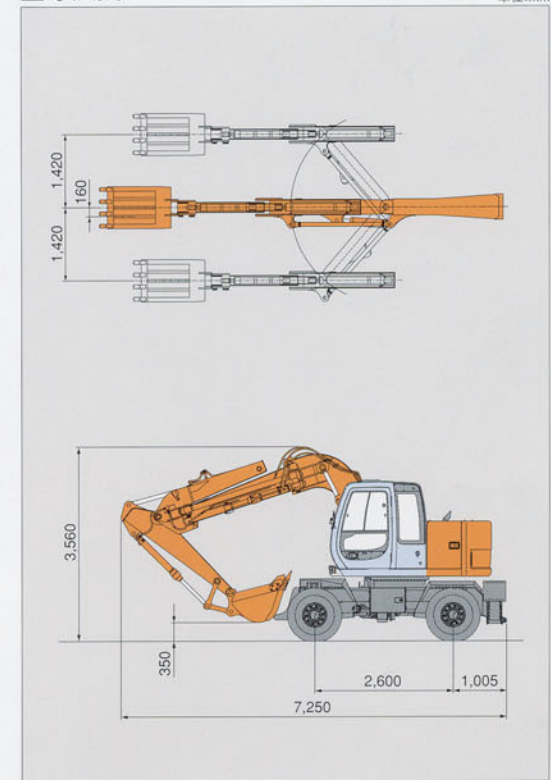


## ■作業範囲

単位:mm

	標準時(オフセット量0)	最大オフセット時(1,420mm)
A 最大掘削半径	7,630	7,100
B 最大掘削深さ	4,540	4,020
C 最大掘削高さ	8,510	8,190
D 最大ダンプ高さ	6,090	5,760
フロント最小旋回半径	2,780	2,340

## ■寸法図



● 正しい操作と、周囲への思いやりは、安全作業の第一歩です。 ●

# 日立建機株式会社

東京都千代田区大手町2-6-2 (日本ビル)  
販売サービス事業本部 ☎(03)-3245-6363

- カタログに記載した内容は、予告なく変更することがあります。
- 掲載写真は、販売仕様と一部異なる場合があります。
- 機械を離れるときは、必ず作業装置を接地させるなど、安全に心掛けてください。
- 機体質量3トン以上の建設機械の運転には「車両系建設機械運転技能講習修了証」の取得が必要です。
- 道路走行の場合は「大型特殊自動車」免許取得者に限られます。

資格取得のご相談は(株)日立建機教習センターの各教習所へ

教習センター	TEL.0489-31-0121	茨城	TEL.0298-28-2370
北海道	TEL.0133-64-6388	京都	TEL.075-957-4944
宮城	TEL.022-364-6132	福岡	TEL.092-963-3634
埼玉	TEL.0489-31-0121		

●お問い合わせは…

KS-292

99.3 (CD/SP,FT4)